

問1 1872年から1993年までの産業の歴史を記した年表において、1872年の出来事として「政府が群馬県に富岡製糸場を設立した」という記述があります。この施設が当時の日本において果たした役割として、最も適切な説明を選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. フランスの技術を導入した官営模範工場として、全国に近代的な製糸技術を広める役割
2. 日清戦争の賠償金を利用して建設され、日本の重化学工業を牽引する役割
3. 廃藩置県によって職を失った士族たちに、軍用武器の製造技術を習得させる役割
4. 士族の反乱を鎮圧するための軍資金を、生糸の輸出によって調達する役割

問2 1886年に和歌山県沖でイギリスの貨物船が沈没し、日本人乗客25名全員が犠牲になった一方で、船長らイギリス人乗組員はボートで脱出し生存した事件が起きました。この事件において、イギリス人船長が日本の法律で裁かれず、イギリスの領事裁判によって軽い刑で済まされた法的根拠は何ですか。（2017年 山口公立入試 類似）

1. 関税自主権の欠如
2. 領事裁判権（治外法権）の承認
3. 外国奉行による調停
4. 内政干渉権の行使

問3 1882年には全国で約7万人だった工場労働者数が、1900年には約49万人へと激増している統計資料があります。この時期の日本の産業発展の様子を説明した文として、適切なものを選択してください。（2017年 滋賀公立入試 類似）

1. 紡績業などの軽工業において機械化が進み、大量生産された製品が日本の主要な輸出資源となった。
2. 重化学工業の発展により労働環境が改善され、労働者の数は横ばいであったが生産性が飛躍的に向上した。
3. 士族授産によって武士が工場の経営者となったため、江戸時代以来の徒弟制度がそのまま維持された。
4. 第一次世界大戦の特需により重工業化が進んだ結果、農村の人口が減少し、食料を輸入に頼る社会となった。

問4 1911年に清を倒すための革命が起こり、翌1912年にはアジアで初めての共和国である中華民国が成立しました。この際、「民族・民権・民生」からなる三民主義を唱えて革命運動を指導し、臨時大總統に就任した人物は誰ですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. 毛沢東
2. 蒋介石
3. 孫文
4. 袁世凱

問5 1894年、日清戦争が始まる直前の時期に、外務大臣の陸奥宗光がイギリスとの間で調印した条約の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 日英通商航海条約
2. 下関条約
3. ポーツマス条約
4. 日米修好通商条約

問6 日露戦争の講和において、日本の全権を務めた小村寿太郎が調印したポーツマス条約に関連して、当時の社会情勢を説明した文として正しいものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 賠償金が得られないことへの不満から、日比谷焼打ち事件が発生した
2. 下関条約の内容に反対したロシア・ドイツ・フランスが三国干渉を行った
3. 欧米諸国からの関税自主権の回復に成功し、国民が祝賀会を開いた
4. 第一次世界大戦後の不況に対する抗議として、全国で米騒動が起こった

問7 明治時代における日本の産業の発展について、1890年から1906年にかけての統計的な動向を説明した記述として、正しいものを選んでください。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 1890年頃は綿糸の輸入量の方が多かったが、機械工業の発達により生産量が増加し、1897年頃に輸出量が輸入量を上回った。
2. 1890年から1906年にかけて、国内の綿糸需要はすべて手作業による糸繰りで賄われており、輸出は行われていなかった。
3. 明治時代を通じて綿織物の輸出量は常に輸入量を下回っていたが、その原料となる綿糸だけは明治初期から輸出超過であった。
4. 1900年代に入ると綿糸の国内生産量は急激に減少したが、これは産業の主役が軽工業から重工業へ完全に移行したためである。

問8 1889年に発布された大日本帝国憲法に基づき設置された、日本の初期の立法機関について、その構成として正しいものはどれですか。（2018年 高知公立入試 類似）

1. 皇族や華族などから成る貴族院と、選挙によって選ばれた議員から成る衆議院の二院制
2. 参議院と衆議院の二院制
3. 国会期成同盟を中心とした一院制
4. 大政翼賛会に統合された全国民代表による一院制

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> フランスの技術を導入した官営模範工場として、全国に近代的な製糸技術を広める役割	富岡製糸場は、フランス人技師ブリユナの指導のもと、当時の世界最先端の技術を導入しました。全国から集まった工女たちがここで技術を習得し、地元工場に戻って指導者となることで、日本全体の製糸業のレベルが底上げされました。なお、八幡製鉄所と混同されやすいですが、八幡製鉄所は日清戦争後の1901年に操業を開始した重工業施設です。
問2	<b>答え 2</b> 領事裁判権（治外法権）の承認	この事件はノルマントン号事件と呼ばれます。当時、日本が欧米諸国と結んでいた不平等条約には、日本国内での外国人の犯罪をその国の領事が裁く「領事裁判権」が認められていました。日本側の犠牲者に対し、船長の処罰があまりに軽かったため、国民の間で不平等条約の改正を求める世論が大きく高まることとなりました。
問3	<b>答え 1</b> 紡績業などの軽工業において機械化が進み、大量生産された製品が日本の主要な輸出資源となった。	1880年代後半から1890年代にかけて、日本は産業革命の時期を迎えました。特に製糸業や綿紡績業といった軽工業で機械による大量生産が実現し、生糸や綿糸は当時の日本の重要な輸出項目となりました。この労働力として多くの人々が工場に雇用されたことが、統計における労働者数の激増という数字に表れています。重工業が本格的に発展するのは日露戦争以降の時期になります。
問4	<b>答え 3</b> 孫文	孫文は「革命の父」と呼ばれ、三民主義を掲げて清の打倒と近代国家の建設を目指しました。1911年に勃発した辛亥革命を受け、翌年に南京で中華民国が成立した際に初代の大統領に選出されました。毛沢東は後の社会主義革命の指導者であり、蒋介石は孫文の死後に国民政府を率いた人物です。
問5	<b>答え 1</b> 日英通商航海条約	幕末に結ばれた不平等条約の改正は、明治政府にとって長年の懸案事項でした。1894年、陸奥宗光外相はイギリスとの交渉により、この条約を締結することに成功しました。これにより、懸案の一つであった領事裁判権の撤廃が実現しました。
問6	<b>答え 1</b> 賠償金が得られないことへの不満から、日比谷焼打ち事件が発生した	日露戦争後、国民は日清戦争時とは比較にならないほどの重税や、約8万5000人におよぶ死傷者という犠牲を強いられていました。しかし、1905年のポーツマス条約においてロシアからの賠償金獲得に失敗したことで、苦しい生活を強いられていた国民の怒りが政府に向けられ、日比谷焼打ち事件という大規模な騒擾（そうじょう）事件が引き起こされました。
問7	<b>答え 1</b> 1890年頃は綿糸の輸入量の方が多かったが、機械工業の発達により生産量が増加し、1897年頃に輸出量が輸入量を上回った。	明治時代の中期から後期にかけて、日本の紡績業は手工業から機械工業へと劇的な進化を遂げました。1890年時点ではまだ外国産の綿糸を多く輸入していましたが、機械による効率的な生産が可能になったことで国内生産量が急増しました。その結果、1897年には貿易バランスが逆転し、日本は綿糸の輸出国へと成長しました。この時期に飛躍したのは「綿糸」であり、製品である「綿織物」の輸出超過はこれより少し後の出来事です。
問8	<b>答え 1</b> 皇族や華族などから成る貴族院と、選挙によって選ばれた議員から成る衆議院の二院制	大日本帝国憲法下の帝国議会は、貴族院と衆議院から構成される二院制を採用していました。衆議院議員は選挙によって選ばれましたが、貴族院議員は皇族、華族、勅任議員などによって構成されており、解散がないなど衆議院とは異なる性質を持っていました。